

	内 容	日時・場所
第 1 回	① 開校式 ② 基調講義「平成時代の自治体改革と地域政策」＜理論編＞ ③ チームビルディング（グループディスカッション）	令和元年7月9日（火） 滋賀大学士魂商才館

7月9日に滋賀大学士魂商才館にて「地域活性化プランナー学び直し塾」の令和元年度開校式を執り行いました。本年度受講生、講師、運営委員など、総勢30名が出席しました。

開校式後は、北村裕明経済学部特任教授による基調講義「平成時代の自治体改革と地域政策」を拝聴し、講義終了後は実践テーマごとにわかれてグループディスカッションが行われ、担当講師とともに自己紹介や意見交換をし、大いに盛り上がりました。

開校式終了後は、生協多目的ルームにて懇親会が行われました。グループディスカッションで既に打ち解けた雰囲気の中、愉しく語り合いました。



開校式の様子 挨拶



講師、受講生の皆さん



基調講義「平成時代の自治体改革と地域政策」



グループディスカッションの様子



懇親会の様子

第	内 容	日時・場所
2 回	① 「多様な主体による政策づくり」＜理論編＞ 担当：阿部佳宏 講師	令和元年7月23日（火） 滋賀大学大津サテライトプラザ

7月23日に滋賀大学大津サテライトプラザにて「多様な主体による政策づくり」をテーマとした講義が行われました。講義は下記のスケジュールで進められ、ワークを通して議論もしました。

- ① 多様な主体による政策づくり（講義）
- ② ワーク1 知っているNPOを2団体挙げて、どのような活動をしているかを隣の人と共有
- ③ ワーク2 あなたの仕事、活動などを通じて「課題」になっていることは何か。「課題」解決に向けてどのようなアプローチが考えられるか。



阿部佳宏講師

【阿部先生からのコメント】

政策形成に当たって、行政だけでなく、NPO、企業を含めて協働型で進めることの大切さを理解してもらえたのではないかと思います。この講義が、各グループでの政策研究に資することを願っている。



講義の様子



ワークの様子

第 3 回	内 容	日時・場所
	「現地視察研修 in 東近江市」	令和元年8月2日（金）午後～8月3日（土）午前 東近江市内

8月2日・3日に東近江市内において現地視察研修を実施しました。

学び直し塾で毎年実施している現地視察研修は、8月2日（金）、3日（土）の両日、東近江市にお世話になった。

最初は、市役所で小椋市長から「地の利を生かしたまちづくり」というテーマで講演していただいた。鈴鹿から琵琶湖までという地理を生かし、その中で培われてきた歴史・文化を万葉集まで遡りながら熱く語っていただいた。

次に、道の駅奥永源寺溪流の里へ移動し、株式会社みんなの奥永源寺・代表取締役の前川真司さんから高校教師、地域おこし協力隊を経て起業し、東近江特産のムラサキを使ったコスメの開発などの話を聞いた。

この後、あいとうふくしモールへ移動。太田清蔵代表から愛東地域での暮らしすべてに関わることを3事業所が連携しながら進めていることや古民家を利用した「ほんなら堂」の取り組みなどをお話いただいた。

2日目は、まず、一般社団法人がもう夢工房が運営するカフェを視察後、まちづくり協議会が指定管理者となっている蒲生コミュニティセンターで向井隆代表理事、東田八郎事務局長から経過や活動内容をお聞きした。

その後、ファブリカ村へ移動。もともと北川織物工場として稼働していた場所を北川陽子さんが新たな拠点としてオープンしたもので、さまざまなイベントに活用されている。

今年も猛暑の中での2日間の東近江市訪問だったが、さまざまな市民の活動を通じて、いろんな気づきがあったのではないだろうか。

忙しい時間を割いて熱心にお話いただき、小椋市長をはじめ、各団体のみなさん、東近江市の職員の方々にお礼を申し上げたい。

学び直し塾 副塾長 阿部 佳宏

次回：第4回「地域データ分析入門＜理論編＞」8月20日（火）15：00～16：40

「政策形成の進め方＜理論編＞」

16：50～18：30

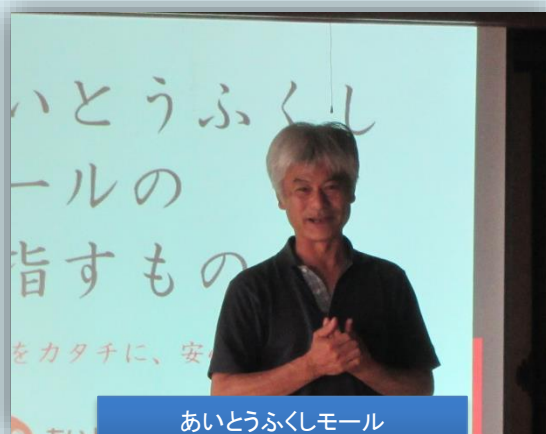
お話を伺った皆さま



東近江市
小椋 正清市長



株式会社みんなの奥永源寺
代用取締役 前川 真司氏



あいとうふくしモール
運営委員会代表 太田 清蔵氏



一般社団法人がもう夢工房
理事長 向井 隆氏



ファブリカ村
北川 陽子氏